

エンジョイ本宮高倉山シリーズ⑤

植田 章夫 (旭)

今回は高蔵神社から本宮高倉山頂上に行く中級コースをご紹介します。テープ追いに慣れていない方は、必ず経験者に同行して貰いましょう。本シリーズ②では地図上の赤線と青線で示す初級コースを登りましたが、今回は緑色の線で示す林間コースです。植林帯を歩きますが、私有地なのでマナーに気を付けて歩きましょう。

(1) 高蔵神社から初級コースで歩いた赤色の線の道で「五差路①」に出たら、正面の登り坂の林道(地図上の緑の線)を登ります。



写真1

(2) しばらく登っていくと左右に横切る林道に出会います(②)。写真1のように正面の小さな崖を右上に上がります。

(3) ここから先はヒノキ林の中を踏み跡と僅かなテープをたどって真っすぐピークを目指して登ります。途中③④付近2箇所で一昨年間の伐の際に作られた新しい林道が目の前を横切りますが、林道の向こう側にあるテープを目指して直進します。

(4) ピーク付近まで登ると右(北)の方へテープを頼りに曲がります。⑤あたりに山頂方向を示す看板があります。緩やかに下がったり上がったりのルートで、テープをたどって森の中を注意深く進みます。

(5) 電波塔の背後⑥に出たら正面の舗装道路を下り、初級コースで歩いた、地図に青線で示す舗装道路に出会います(⑦)。

(6) 舗装道路が急カーブしているあたりの道端にある「頂上へラストアタック」(写真2)の看板に従い、森の中に入って急登を登ります。



写真2



写真3

(7) 登りきると⑧で目の前が開け、頂上のパラグライダー場の草原(写真3)に出ます。ここからの眺望が実に素晴らしく、急登の疲れも癒されます。お弁当やおやつにはここが絶対おすすめです。次回は、眺望の素晴らしい、高倉山塊の一部、赤磐市馬屋のカブト岩をご紹介しますと思います。

高蔵神社 秋の大祭

高蔵神社伝統の「秋の大祭」が10月21日に行われ、ご神体を乗せたお神輿が町内を巡った。各地区で盛大なお出迎えをいただき、神官に合わせて二礼二拍手一礼。五穀豊穰、家内安全を祈願しました。夕刻からは遥拝所に場を移しての「夜祭」。牟佐子ども会が作った絵行燈に灯がともり、境内に出店した焼きそば、たい焼き店などから香ばしいにおいが立ち込めて祭りも最高潮。子どもたちの笑顔と笑い声が遅くまではじけていた。

お世話になった町内の皆様、祭りを盛り上げてくださった牟佐子ども会の方々、ありがとうございました。(高蔵神社奉賛会 平井 誠)



編集後記

私、安藤洋一(寿)、鏡原憲二さん(昭和会)、長崎勝さん(太戸)が昨年で電子町内会運営委員を退任しました。長い間、町内会新聞の発行、電子町内会の運営など大変お世話になりました。

昨年交代に、明石匡弘さん(太戸)、松本康彦さん(西条)に加入をいただきました。世代交代し、新たな発想で町内会の活性化、情報の発信などに取り組んでいただきたいと思います。明石さん、松本さんよろしくお願ひいたします。電子町内会では、この紙面の外、牟佐町内会ホームページ(右のQRコード)により、みなさんと情報の共有を行っています。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。(電子町内会運営委員)

